



生涯学習のパートナーとして
学ぶ喜び知る楽しさの
充実につとめます。

理事長・学長 久保 千春 (中村学園大学学長)
前九州大学総長)

九州市民大学の特徴

非営利性

九州市民大学は、営利を目的とせず、生涯学習の場として市民文化の向上と地域社会における豊かな文化の創造に寄与したいと願っています。

中立性

九州市民大学は、特定の政治・宗教活動を一切行いません。また、講師陣も一方に偏ることがないよう細心の注意を払っています。

市民中心主義

九州市民大学の受講生は、市民個人が自己負担で自主的に入学し、性別、年齢、学歴にとらわれずに楽しく学びながら一般教養・知識を高めることを目的としています。

自主運営

九州市民大学を運営するための財源は、受講生からの受講料収入によっており、行政や特定の業界・企業などには依存していません。また、各種事業は役員・運営委員の自発的・自主的参画によるボランティアによって運営されています。



募集要項

募集人数／昼の部：1,800人 夜の部：1,800人(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

会期／2022年1月～12月 毎月1回

時間／**昼の部** 午後2時30分～午後4時 **夜の部** 午後6時～午後7時30分

会場／福岡サンパレス・ホール(1月～9月)、アクロス福岡・福岡シンフォニーホール(10月～12月)

年間受講料／《**昼の部**》個人 1人 25,000円 夫婦・家族 1人 23,000円(同居家族に限る)

《**夜の部**》個人 1人 23,000円 夫婦・家族 1人 21,000円(同居家族に限る)

ご注意／**昼の部** 受講生は、**夜の部** 講座に振替受講ができます。

夜の部 受講生は、**昼の部** 講座への振替受講は、座席に余裕がないためできません。

お申し込み・受講料お支払い方法

九州市民大学事務局へお電話・FAX・ホームページにてお申し込みください。受付け後、所定の受講料振込用紙を郵送いたします。現金でのご入金は事務局で受付けます。

新入会員紹介の方へお礼をいたします(2022年2月まで)

今年度新入会員を紹介していただいた受講生には、年間受講料を2,000円割引いたします。

※後日返金いたします。なお家族割引との併用はありません。

[後援] 福岡県・福岡市

受講のお申し込み・お問い合わせは…

一般社団法人
九州市民大学 事務局

TEL 092-714-0066
FAX 092-714-6045

受講のお申し込みはこちらのQRコードからもできます →



会場

1月～9月は
福岡サンパレス・ホール

福岡市博多区築港本町2-1



1/12 (水) 浪曲師 玉川 奈々福

2/4 (金) 精華女子高等学校 吹奏楽部

3/16 (水) 長崎大学熱帯医学研究所教授 山本 太郎

～九州市民大学～
KYUSHU CITIZENS' COLLEGE

2022年

受講生募集



4/14 (木) バンドネオン奏者 タンゴ三姉妹+



6/14 (火) 宇宙航空研究開発機構シニアフェロー 川口 淳一郎



7/13 (水) 歌舞伎俳優 坂東 玉三郎



8/8 (月) 人工知能研究者・随筆家 黒川 伊保子



9/12 (月) 指揮&お話 井田 勝大 九州交響楽団

会場

10月～12月は
アクロス福岡・福岡シンフォニーホール

福岡市中央区天神1丁目1-1



10/12 (水) 立命館大学客員教授 藤中 三十二



11/10 (木) 國學院大學教授 上野 誠



12/3 (土) 津田塾大学客員教授 村木 厚子

知るは喜び 学ぶは楽し

この講師のココが面白い!

九州市民大学では毎年、講師選定に議論を尽くします。いま、この方に講演をお願いするのにはワケがある!
ここ一番の聴きどころをご紹介します。

*講師・講演日は講師の都合などにより、やむをえず変更になることがあります。

【会場】福岡サンパレス・ホール 福岡市博多区築港本町2-1



1/12
(水)
**浪曲師
玉川 奈々福**

ほとばしる浪花節!

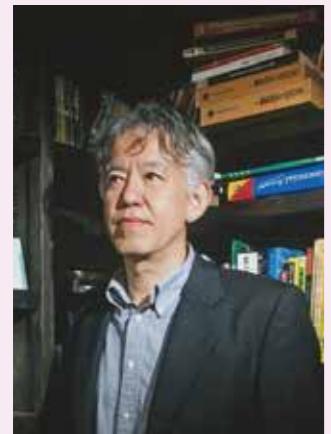
浪曲の世界に新風が巻き起こっている。人気復活のけん引役は新作から古典まで豊かな表現力が魅力の玉川奈々福。浪花節とも呼ばれる浪曲は、節(歌)と啖呵(台詞)に曲師が三味線で即興の伴奏をつけて演じる語り芸。源流は古くからの大道芸までさかのぼるが、「浪花節」というジャンルとしては明治のはじめに誕生。義理と人情、恋と友情、歴史にまつわるはなしなどを扱いながら、抱腹絶倒、涙腺崩壊、聴くものを物語の沼にひきすり込む。



2/4
(金)
**精華女子高等学校
吹奏楽部**

熱血ブラバン少女～コロナを超えて～

1978年にわずか5人の生徒と先生で創部。今や数々の賞に輝き日本の名だたる吹奏楽部となる。先代の藤重先生から2代目としてバトンを受けた櫻内先生が現在の指導者。部員115名の楽部はコロナウイルスによって練習も思うに行かず大変な日々を送った。そんな中で演奏することの喜びや人に伝えることの大切さを知ったと言う。制約の中で練習を積んだ成果を大ホールいっぱいにパワー全開で届けてくれること間違いなし。



3/16
(水)
**長崎大学熱帯医学研究所教授
山本 太郎**

感染症と文明:
Withコロナ時代の羅針儀

人類が遭遇した感染症は、この100年だけでエボラ出血熱、エイズ、SARS、MERS…いま新型コロナである。ウイルスは自然界から人間社会に入ってきて疫病を引き起こす。人間が動物の棲む域内へ侵入するか、生息域が狭くなった動物が人里へ接近するか、考えられるシナリオという。現代社会で起きたパンデミックはある種の必然。感染症と人類の現在・過去を学び、人類どうあるべきか未来を考えるのに先生を描いてない。お招きできて本当によかったです。



4/14
(木)
**バンドネオン奏者
タンゴ三姉妹+**

アルゼンチンタンゴの魅力を
ダンサーとともに

2019年夏、アルゼンチンタンゴになくてはならない楽器、バンドネオンの名手・川波幸恵を中心に関成した福岡在住の女性演奏家トリオ。川波は、15年に米国で開催された第1回チ・バンドネオン世界大会で優勝。その後、舞台やTVにも出演、海外アーティストとも共演。ピアノの岡直美、バイオリンの松本さくらと結成した「タンゴ三姉妹+(プラス)」は、く共演者やお客様と一緒に幸せなひとときを♪と末尾に「+」を冠する。



7/13
(水)
**歌舞伎俳優
坂東 玉三郎**

舞台に生きる

歌舞伎界のというより、やまと文化の至宝。天性の美貌と才能にたゆまぬ精進を重ね女性の最高峰、立女形となる。高貴な姫君、傾城の花魁、場末の酌婦…と何を演じても凛とした気品をまとう。舞踊に至っては独壇場。長年、熊本県山鹿市の八千代座の復興にも力を尽くす。映画監督、演出家としても独自の美意識を確立し、ヨーヨー・マ、モーリス・ベジャールなど海外の巨匠とも共作して世界の称賛を得た。人間国宝。今や円熟の極み。



5/17
(火)
**狂言師
野村 萬斎**

ヒューマンコメディ
～生きること、笑うこと～

皆さん、最近声を出して笑いましたか?喜怒哀楽といった感情を表に出す機会がありましたか?650年以上の歴史を持つ、笑いの古典芸能・狂言の伝承者として、狂言・能の舞台はもとより、シェイクスピアや現代劇、テレビドラマや映画など映像分野、古典の知恵と技法を駆使した演出等、ジャンルを超えて活躍する。常に時代の最先端を行く表現の場に身を置いてきた萬斎が、多彩な経験を経て、今改めて考える、狂言と日本文化の現在について語る。



8/8
(月)
**人工知能研究者・随筆家
黒川 伊保子**

目からウロコの脳科学的人生論

コンピューターメーカーの人工知能(AI)エンジニア時代、男女で「とっさに使う脳神経回路」の初期設定に大きな違いがあることを突きとめる。女性脳は共感を得るために、男性脳は問題解決のために言葉を紡ぐ。これから様々な差違が生じる。この研究成果をもとに、ベストセラー『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズが生まれた。話題は、これから始まる人工知能時代や、脳と言葉の関係から考える日本語論にまで広がる。



6/14
(火)
**宇宙航空研究開発機構シニアフェロー
川口 淳一郎**

やれる理由こそが着想を生む
～はやぶさ式思考法～

小惑星探査機「はやぶさ」の生みの親。渡辺謙を主役に映画化もされて、一躍時の人に。地球帰還を前に運用が停止して、見ている私たちもスタッフと一緒に「帰ってこい」と祈った。それに応えるようにエンジンが復活したときの感動は忘れない。プロジェクトは、なぜ小惑星を追い続けたのか、自分たちこそそのゴールとは何だったのか。「変人の集団」だったと自負するメンバーたちの行動や裏話なども楽しみにしたい。



9/12
(月)
九州交響楽団

井田勝大・九響が贈る
バレエ音楽の魅力と歴史

耳から入るオーケストラの音楽と、目から入るダンサーの動きが調和され人々を魅了するバレエ音楽。ウイーン国立バレエ団、モスクワ・クラシックバレエ団、Kバレエカンパニーなど、国内外を問わず多数のバレエ団の演奏の指揮を執る井田勝大が、バレエ音楽の魅力を語り、九響を指揮してストラヴィン斯基、ほかを奏る。福岡サンパレスでの市民大學最後の舞台にふさわしい彩を添える。



10/12
(水)
**立命館大学客員教授
薮中 三十二**

国際情勢と日本外交

サンデーモーニングなどテレビ解説でおなじみ。わが国を代表する国際政治学者の一人。貿易問題で激突した日米経済交渉、北朝鮮の核・拉致問題など数々の外交の最前線で活躍した実体験が強み。グローバル寺子屋という名の塾を作り、世界に発信、交渉できる若者の育成に力を注いでいる。激しさを増す米中対決にわが国はどう向き合えばいいか。膠着したままの拉致問題、韓国への対応は—ソフトで歯切れのいい薮中節にご期待を。



11/10
(木)
**國學院大學教授
上野 誠**

万葉集とその世界

今春、29年間つとめた奈良大の教授を退き、東京の母校、國學院大學に移った。もう一つ、その前には故郷の福岡にいた母を奈良に引き取って7年間介護し、会葬後、遺骨を福岡に戻した。いまは奈良大の名誉教授でもあり、自宅も引き続き奈良だ。今後は研究の拠点は東京に移して、培ってきた万葉集をはじめ古代学の研究に軸足を置く。一方では「自分は九州人」という強い自覚を持ち続け、大伴旅人、山上憶良ら筑紫歌壇を紐解く研究者である。



12/3
(土)
**津田塾大学客員教授
村木 厚子**

共生社会をめざして、
「生きにくさ」に寄り添う

本人にとっては不名誉ながらも、冤罪事件で逮捕されたことで知られる。復職後は官僚トップの厚生労働省事務次官まで上り詰めた。退官後は大学で教壇に立つなどしながら、すべての人が年齢や性別、障がいの有無にかかわりなく、地域で一緒に暮らしたり働いていける「共生社会」をめざす。貧困や家庭内暴力などに苦しむ若い女性を救う「若草プロジェクト」、罪に問われた障がい者などに寄り添う「共生社会をつくる愛の基金」などに尽力。

九州市民大学・その他の活動 月1回の講演会の他にも、野外での活動や特別講座など、様々なイベントを企画しております。

※2020年、2021年につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のためその他の活動は休止しています。

野外研修ツアー(春・秋) 自然とふれあい、文化を知る。

受講生同士の親睦の場として、日帰りと宿泊の野外研修旅行を企画しています。文化と自然に親しみながら、和気あいあいとした雰囲気のなかで交流が深まっています。

これまでの
実績
2018年(秋)
新装なった福岡女子大学へ
小さな学び旅

2019年(春)
神話の山陰へ
二大美術館と美食を求めて
芸術の秋に見る、食べる、学ぶ
～九州大学伊都キャンパス久保千春
総長講義・唐津環境芸術の森～

特別講座 より深く、より楽しく。知れば知るほど、もっと知りたくなる。

定例の講演会とはひと味違う特別講座は、地元の講師を囲み、少人数で交流を図りながら「地元の歴史や文化をもっと知ろう」と計画するものです。九州市民大学ならではのテーマで探求します。

これまでの
実績
2017年
朝倉から日本の古代が見える
～天智天皇と朝倉橋広庭宮の謎～

2018年
さよなら
九大箱崎キャンパス

2019年
関門(下関・門司港)の
日本遺産を学ぶ

『サマースクール』集中講義

大学の授業に準じた『サマースクール』集中講義を行っています。定例講演会とは異なり、ひとつのテーマを深く掘り下げた内容が受講生に好評です。

これまでの
実績
2017年
豊穣の九州文学、
魅惑の情念に分け入る
「筑前の琵琶とかるた風土記」

2018年
遊芸文化の伝統と現在
「筑前の琵琶とかるた風土記」

2019年
科学と感性を融合する
福岡市科学館